

平成25年8月13日

南海電気鉄道株式会社

三国ヶ丘駅改良事業を推進中

高野線・三国ヶ丘駅が橋上駅舎化します**9月7日（土）始発列車から供用開始**

南海電鉄（社長：亘 信二）では、堺市およびJR西日本の協力のもと、高野線の三国ヶ丘駅（堺市堺区向陵中町二丁目7番1号）において、施設の利便性や集客力の向上を目的とした「三国ヶ丘駅改良事業」（東西自由通路の整備、駅舎の橋上駅舎化、商業施設のリニューアルなど）を推進しています。

そしてこのたび、同事業の進捗に伴い、平成25年9月7日（土）始発列車から、東西自由通路および橋上駅舎の供用を開始することとし、改札口および駅務室の位置を変更しますのでお知らせします。

1. 供用開始日

平成25年9月7日（土）始発列車から

2. 供用を開始する施設

※別紙「橋上駅舎化 概略図」をご参照ください。

(1) 東西自由通路

東口（現行の北口）と西口から線路をまたいで東西を行き来できる「東西自由通路」の供用を開始します。これによって、これまで線路で分断されていた歩行者動線を確保します。

また、東西自由通路のエスカレーター（東側2基、西側1基）についても、同日から供用を開始します。

※これまで北口と称していた駅出入口を「東口」に改めることで西口との位置関係を分かりやすくします。

※東西自由通路のエレベーター（2基）については今後整備を進め、東側エレベーターは来年1月ごろ、西側エレベーターは来年3月ごろにそれぞれ完成する予定です。

(2) 橋上駅舎（改札口および駅務室）

現行の北口と西口にある当社の改札口および駅務室を、それぞれ2階へ移転して1カ所に集約し、「橋上駅舎」として供用を開始します。

また、橋上駅舎化にあわせて、改札内と下りホームを結ぶエスカレーター（2基）の供用を開始するとともに、既存の施設について以下のとおり変更します。

ア. 東口（現行の北口）の改札口については、すべてJR専用となります。

①当社高野線からJR阪和線への連絡改札口を閉鎖します。

②JR阪和線から当社高野線への連絡改札口を、JRの改札口（出場専用）に変更します。

③当社の改札口を撤去します。

イ. 現行の北口にある当社駅務室をJR駅務室（仮設）に変更します。

ウ. 西口の改札口については閉鎖します。

エ. 既存の跨線橋は、新設する橋上駅舎と一体化させて供用します。

オ. 改札内地下道を閉鎖します。

※東西自由通路のエレベーターの供用を開始するまでの間、車いすをご利用のお客さまへは1階に通路を設け、駅係員による対応を行います。

3. 三国ヶ丘駅改良事業について（ご参考）

当社では、高野線・三国ヶ丘駅において施設の利便性や集客力の向上を目指し、平成23年4月から、駅構内バリアフリー化や橋上駅舎化、東口と西口を結ぶ東西自由通路の設置、商業施設のリニューアルなどからなる「三国ヶ丘駅改良事業」を推進しています。

今回の東西自由通路および橋上駅舎の供用開始によって、同事業は大きく進捗することとなります。

今後は、商業施設のリニューアル工事をはじめ、東西自由通路のエレベーター（2基）や、改札内と上りホームを結ぶエスカレーター（2基）の設置工事などを進めます。

なお、商業施設のリニューアルオープンを含めた全面開業は、平成26年春を予定しています。詳細が決まり次第、お知らせします。

<事業の経緯>

平成23年4月	三国ヶ丘駅改良事業	着手
24年3月	南海上下ホームのエレベーター	供用開始
25年9月（今回）	南海改札口および駅務室	切替
	南海・JR連絡改札口	閉鎖
26年1月（予定）	JR改札口および駅務室（本設）	完成
	東西自由通路の東側エレベーター	供用開始
26年3月（予定）	東西自由通路の西側エレベーター	供用開始
26年春（予定）	三国ヶ丘駅改良事業	完了
	商業施設リニューアルオープン	



三国ヶ丘駅改良事業 全面開業イメージ（東側外観）

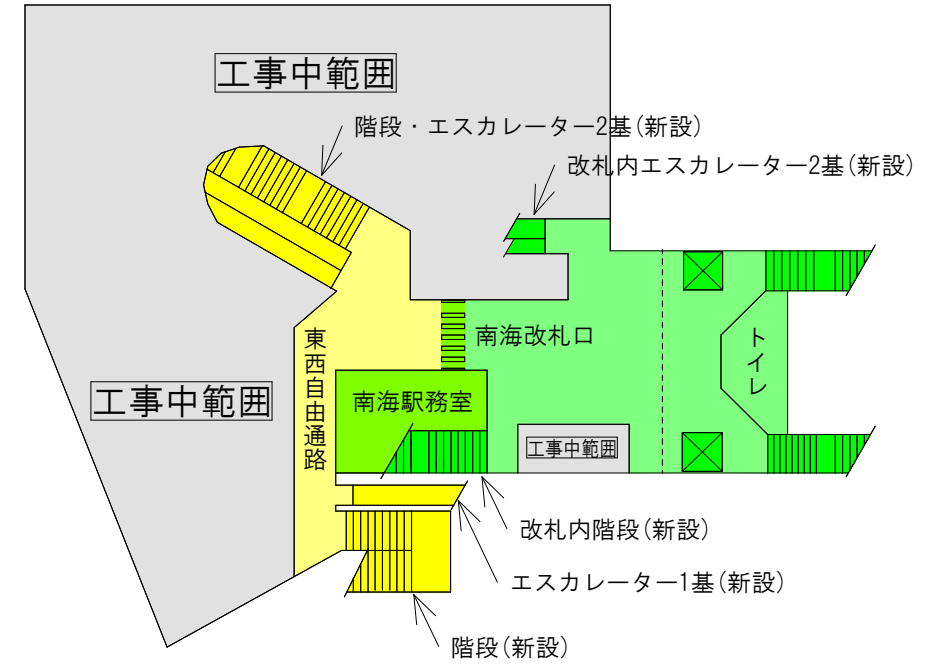
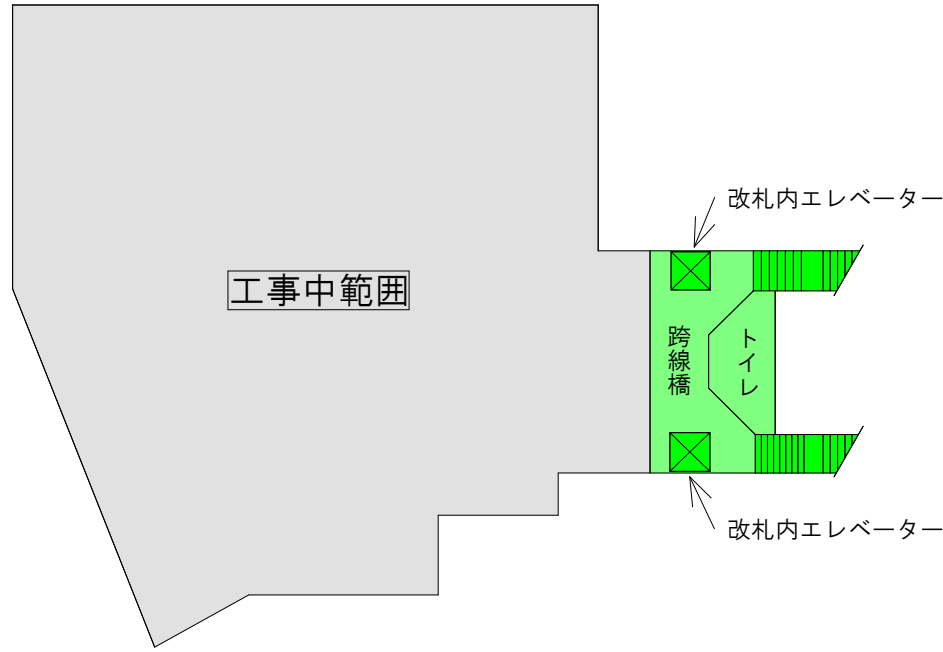
以上

別紙 高野線三国ヶ丘駅橋上駅舎化 概略図

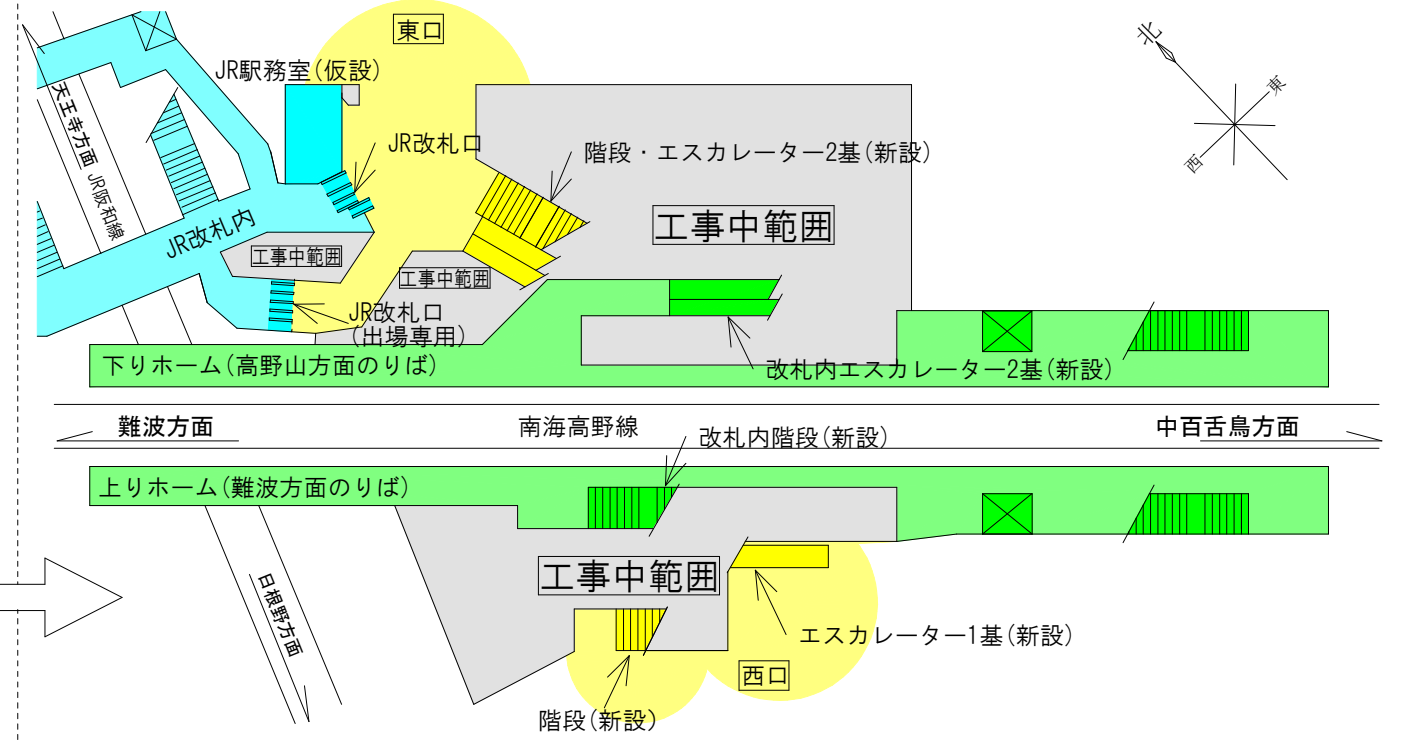
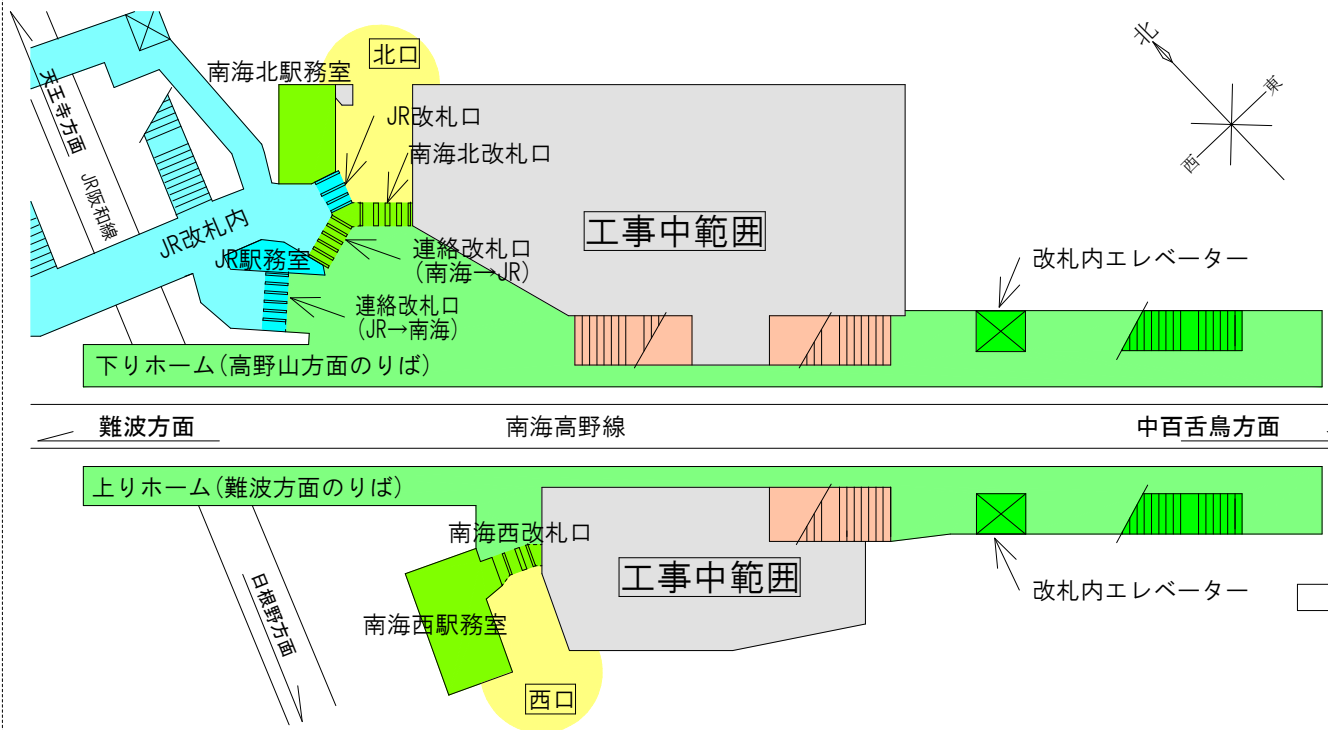
9月6日（金）終列車まで

9月7日（土）始発列車より

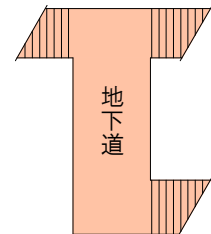
2階平面



1階平面



地下道平面



地下道閉鎖